

取扱説明書

ワイドフロー ファンタイプイオナイザー

【DTRY-ELW22】

この度は、DTRY-ELW22（以下ELW22）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は高電圧機器として電気設備基準には規定されておりませんが、2000Vの交流高電圧を扱っておりますので、製品の取扱いに際しまして、本取扱説明書を精読して頂き、取扱いには充分ご注意くださいとともに、正しい操作をお願いいたします。なお、本書は大切に保管し、必要に応じて再読願います。

1. 安全上のご注意

本製品はIEC61010-1 電気機器の安全要求事項に従って設計、試験し、安全な状態で出荷されておりますが、本製品内部に高電圧を使用しているため、使用方法を誤ると人身事故や製品の故障につながる可能性があります。製品仕様外での使用や安全上のご注意がお守り頂けない場合、弊社は一切の責任を負えません。

1.1 ⚠ 警告

本製品は非防爆仕様です。可燃性ガスや溶剤を取扱う場所・雰囲気内での設置・使用はしないでください。着火・爆発の恐れがあります。
放電針には高電圧が印加されますので、指や身体、針金や工具などの導電物を近づけないでください。感電や故障の原因となります。
放電針は先端部が尖っておりますので、取扱いには十分注意してください。身体にケガを負う可能性があります。
感電防止及び確実な除電を行なう為に、本体アース端子を必ず接地してください。
本製品の仕様範囲外では使用しないでください。事故や故障の原因となります。また、本製品の寿命を著しく低下させる恐れがあります。
本製品の分解・修理・改造は絶対に行なわないでください。事故や故障の原因となります。
大気中でオゾンが発生しますので、オゾン臭を感じたら換気を行なってください。オゾンが長期間滞留した場合、金属などが酸化する恐れがあります。
配線や設置、点検作業は、必ず電源を切った状態で行なってください。事故、感電または故障の原因となります。
本製品は性能維持の為に放電針および放電針周辺の清掃は定期的になんてってください。性能が発揮されないばかりか機器・ワークの損傷を起す可能性があります。
その他警告事項は、静電気除去ユニット イオナイザー カタログ (Catalog No. R0001) 「安全上のご注意」をご参照ください。

1.2 ⚠ 注意

本製品は高電圧発生装置を内蔵しておりますので、水や油のかかる場所、高温、多湿な場所への設置は避けてください。特に湿度が高く、結露する場所は避けてください。
電源の過渡的状态を避けてください。また、入力電源は定格を超えないように電源変動をご確認ください。
使用不能また不要になった製品、消耗品は産業廃棄物として適切な廃棄処理を行ってください。
その他注意事項は、静電気除去ユニット イオナイザー カタログ (Catalog No. R0001) 「安全上のご注意」をご参照ください。

2. 製品セット内容

本製品がお手元に届きましたら、梱包内容に欠品が無いか、搬送中において異常または破損が無いか点検してからご使用ください。万一、破損あるいは正常な動作をしない場合は、お買い上げ店（代理店）または最寄の営業所にご連絡ください。

2.1 梱包内容

- ・本体…1台
- ・取扱説明書（本書）…1部
- ・放電針ユニット※…1ヶ
- ・取付ブラケット※…1セット
- ・電源信号ケーブル(2m)…1本
- ・アースリード線(2m)…1本
- ・フィルタ※…1枚
- ・接点切り替えスイッチ保護シール…1枚
- ・ローレットネジ…2ヶ
- ・脱着防止ワッシャー…2ヶ
- ・放電針清掃ブラシ…1本

※出荷時、本体に装着されています。

2.2 消耗品

- 本装置の性能維持の為、消耗品は定期的に交換することをお勧めします。
- ・放電針ユニット；DTRY-ZEM-W22
 - ・フィルタ（5枚セット）；DTRY-ZFU-W22

3. 製品概要

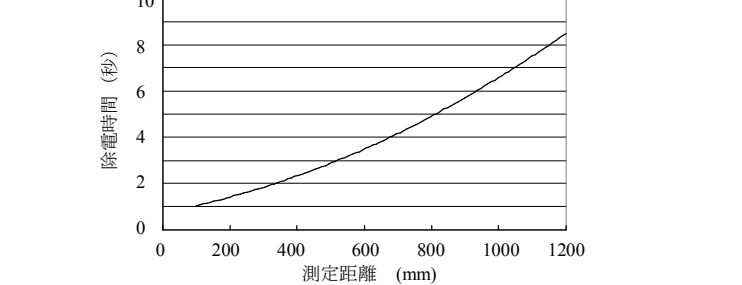
本製品は静電気のトラブルが発生している場所の対策用として、すぐに役立つファンタイプイオナイザー（静電気除去装置）です。イオンエアが帯電物体の静電気を敏速かつ効果的に中和します。

4. 仕様

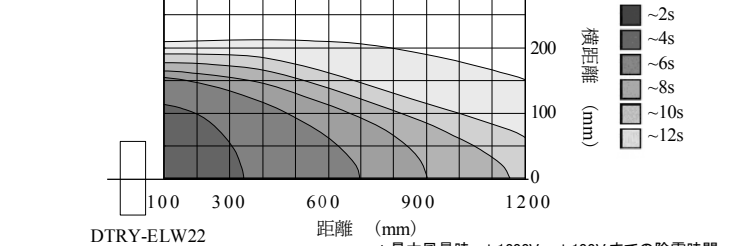
4.1 仕様一覧

形式	DTRY-ELW22
入力電源	DC24V±5%
消費電流 mA	260
出力電圧 kV	2（高周波タイプ）
表示	高圧電源LED（緑色）、放電異常表示LED（赤色） 電源スイッチLED（照光式押しボタンスイッチ：緑色）
異常出力	放電の異常時に接点出力（a、b接点設定可能） DC24V 50mA MAX
外形寸法 mm	120.5(L)×308(W)×118(H) （突起部含まず、ブラケット穴最上段使用時）
質量 kg	約 2.1
イオンバランス	±15*
V	（吹出し口中央部から 300mm、最大風量時）
除電時間 sec	2*
（吹出し口中央部から 300mm、最大風量時）	
オゾン発生量 ppm	0.03以下 （吹出し口中央部から 300mm、最大風量時）
風量 m ³ /min	最大 1.3（無段階調整可能）
使用環境温度℃	室内 0～40（最大湿度 65%RH、結露なきこと）
安全規格	IEC 61010-1 （過電圧カテゴリ I，汚染度 2，高度 2000m以下） *弊社測定条件で測定しています。

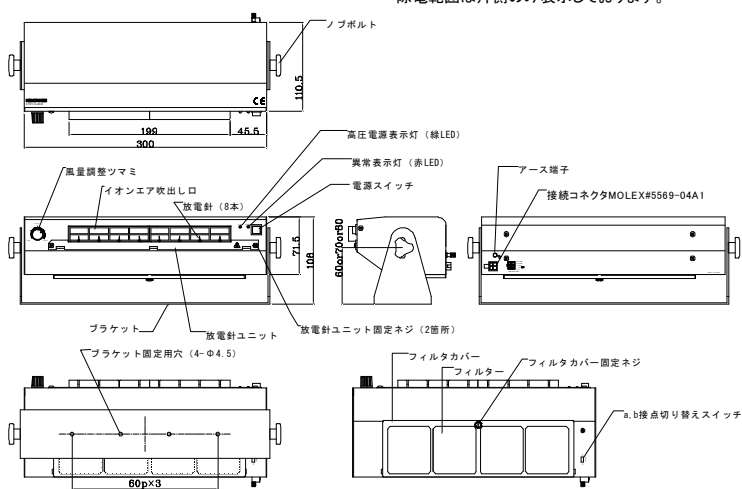
<除電特性図>



<除電範囲図>



4.2 外観

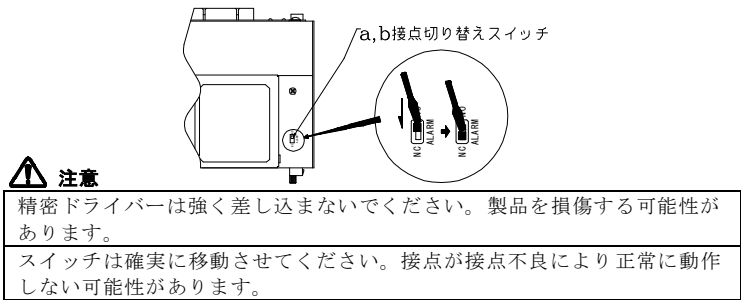


5 設置・配線

5.1 異常出力接点の設定

本製品は異常出力接点の切り替え（a・b接点 出荷時a接点設定）が可能となっております。設定手順をご覧ください。

- ・設定手順
- ①本体背面の接続コネクタにケーブルが接続されていない事をご確認ください。接続されている場合は抜いてください。
- ②本体底面のNO(a接点)・NC(b接点)接点切替えスイッチを精密ドライバー等でスライドさせ任意の方向へ移動してください。



- ③本体背面のコネクタにケーブルを接続し、電源を投入し接点動作の確認を行なってください。各接点設定時の出力は、下表をご参考ください。

設定 MODE	電源 OFF 時	電源 ON 時
NO(a 接点)	OPEN	OPEN
NC(b 接点)	OPEN	CLOSE

⚠ 注意

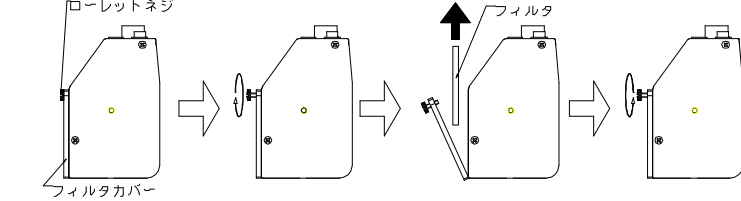
接点動作の確認は必ず行なってください。予期せぬ動作により、人身事故や装置の故障につながる可能性があります。動作確認は本書 5.6 配線の項目を参照し、正しく行なってください。電源等の極性を間違えると製品の故障の原因となります。

- ④NO(a接点)・NC(b接点)接点切り替えスイッチの窓を付属の接点切り替えスイッチ保護シールで封印してください。



5.2 フィルタの取外し方法

- 本製品には本体底部にフィルタが取り付けられておりますが、ご使用の環境により外してご使用いただくことも可能です。
- ①本体背面のコネクタにケーブルが接続されていない事をご確認ください。接続されている場合は抜いてください。
 - ②本体底面のフィルタカバーのローレットネジを外してください。
 - ③フィルタカバーを開き、フィルタを外してください。
 - ④フィルタカバーを閉めてローレットネジを締めてください。



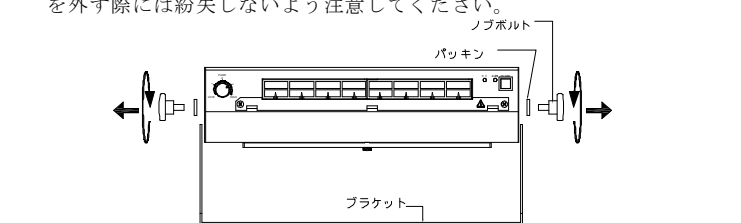
⚠ 注意

フィルタを取り外してご使用される場合はフィルタは無くさぬよう保管してください。フィルタカバーに無理な力を加えないでください。破損の可能性があります。

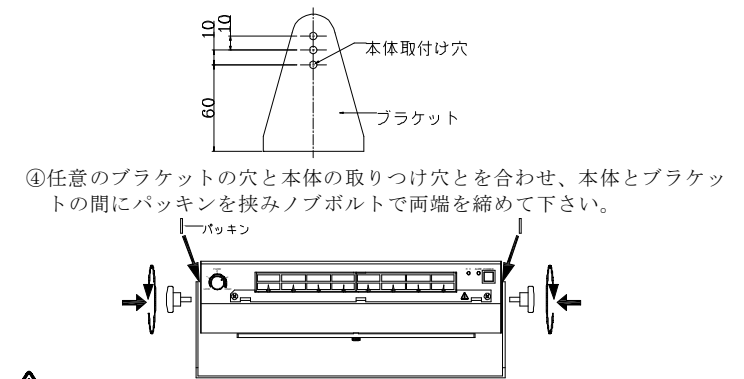
5.3 ブラケット高さの調整

本製品のブラケットは本体高さを3段階に調整できるようになっております。ご使用の条件によって本体高さを変更してください。

- ①本体背面のコネクタにケーブルが接続されていない事をご確認ください。接続されている場合は抜いてください。
- ②本体を手で押さえながら両端のノブボルトを外してください。本体とブラケットの間にはパッキンが入っておりますので、ノブボルトを外す際には紛失しないよう注意してください。



- ③ブラケット両端にある3箇所の本体取り付け穴から高さを選定してください。



⚠ 注意

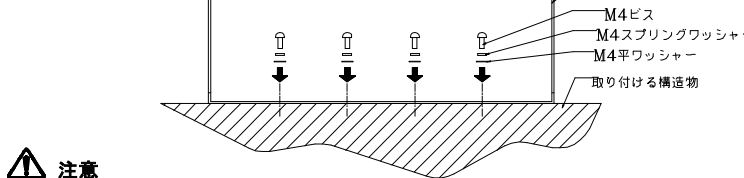
ブラケット高さ調整時はブラケットの穴位置を誤っていないか確認してください。パッキンが確実に入っているか確認してください。パッキンが入っておりませんとご使用中に角度が固定出来ない場合があります。ブラケット高さを低く調整した場合は本体の調整可能角度が小さくなりますのでご注意ください。最下段の取付穴を使用した場合、除電時間が遅くなる可能性があります。

5.4 設置

⚠ 注意

振動・衝撃のある可動部には使用しないでください。製品が損傷する可能性があります。本体を設置する方向に指定はありませんが、設置面は必ず平面として下さい。本体の設置場所はエアの吸い込み口に30mm以上のスペースがある場所にしてください。エア吸い込み口に遮蔽物等がありますとエアが吸気できず性能が出ません。結露しやすい場所や温度・湿度変化の激しい場所への設置はしないでください。本体が損傷する可能性があります。

- ①テーブル等の水平な場所にそのまま置き使用することが可能です。また、装置内等に設置される場合はブラケットの固定用穴（4-φ4.5）をM4ネジ（スプリングワッシャーとワッシャー含む）で固定してください。
- ②本体角度の調整はノブボルトを緩めることで自由に変更することが出来ます。調整後は再度ノブボルトを締め、本体の角度が変わらないように固定してください。



⚠ 注意

ブラケットからのネジ頭高さ（ワッシャーを含む）は、8mm以下としてください。また、ブラケットの高さ調整が低い場合はネジと本体が干渉する場合があります。本体の角度調整時は注意して設定してください。

5.5 その他

本製品にはローレットネジを2本添付しております。本体の放電針ユニットを取り付けております放電針ユニット固定ネジ（M3 バインドネジ）と交換していただく事で放電針清掃時の放電針ユニットの着脱が容易となります。放電針の清掃方法に関しましては本書 7.1 放電針の清掃方法をご参照ください。

⚠ 注意

放電針ユニット固定ねじを添付ローレットネジに交換することにより、放電針ユニット脱着が容易となりメンテナンス性が向上します。脱着が容易となることで、放電針でのケガ、放電針損傷の危険性は上昇しますので注意してください。

5.6 配線

⚠ 注意

配線を行なうときはケーブル色を必ず確認し、確実に配線を行なってください。配線を間違えますと本体が損傷する可能性があります。電源電圧は必ず定格のものを入力し、電圧変動があるものは使用しないでください。故障の原因となります。また、性能が十分に発揮されません。

- ・電源、異常出力接点の配線方法
- ①付属の電源信号ケーブルを本体背面のコネクタに接続して下さい。
- ②DC電源の+24Vラインと電源信号ケーブルの（赤）、0Vラインと電源信号ケーブルの（緑）を接続してください。
- ③異常出力接点を使用する場合は電源信号ケーブルの（白）、（黒）に接続してください。極性はありません。

